

令和 2 年度

自治会アンケート調査結果について

令和 3 年 2 月

鹿角市市民部市民共動課

調査の概要

1. 調査目的

少子高齢化や市民ニーズの多様化、コミュニティ意識の希薄化など自治会を取り巻く状況は厳しくなっていますが、その一方で、東日本大震災においては地域住民相互の“絆”がお互いを支え合う大きな力になっているなどその大切さが改めて認識されています。

本市では「共働」を理念に掲げ、第6次総合計画の推進を図ることとしており、安全・安心な地域社会づくりをしていくうえで自治会など住民自治組織が果たす役割は大きく、その活性化を図ってまいりたいと考えています。

本調査では、自治会の組織運営や活動内容に関する実態の把握を行うことで、今後の自治会活動の参考とし、自治会の活性化に役立てていくことを目的としています。

2. 調査方法

「基礎調査票」と「アンケート調査票」の2種類。

- ・基礎調査票は、平成29年度調査時から変更があった場合に回答内容の訂正を依頼。
- ・アンケート調査票は、設問を54問とし、回答を依頼。

3. 実施期間

令和2年7月30日（木）～8月11日（火）

4. 調査対象

市内187自治会（各自治会長に回答を依頼。）

5. 調査結果

送付数 187自治会

回答数 187自治会

回答率 100%

6. アンケート集計結果の公表について

本調査の集計結果は、各自治会に配付するほか、市ホームページ上で公開します。

その際、自治会名の記載は行わず（問25を除く）、統計的に取り扱うこととします。なお、集計結果に記載された活動内容を参考にしたいという自治会の申し出等があった場合、個別に自治会を紹介することがあります。

目 次

基礎調査結果	1～4
--------	-----

アンケート結果

会長や役員について

問 1. 会長の年齢について	5
問 2. 会長歴（通算）について	5
問 3. 会長の選任方法について	6
問 4. 会長や役員の交代を円滑に行うための工夫について	6
問 5. 会長の任期について	7
問 6. 役員会の開催頻度について	7
問 7. 自治会業務の引継ぎについて	8
問 8. 自治会業務の引継ぎの方法について	8
問 9. 会長及び役員の報酬・謝礼について	9

年会費について

問 1 0. 年会費の徴収について	9～10
問 1 1. 年会費の減額について	10
問 1 2. 年会費の徴収方法について	11

会員名簿について

問 1 3. 会員名簿の作成について	11
問 1 4. 会員名簿の更新時期について	12
問 1 5. 会員名簿の作成方法について	12
問 1 6. 会員名簿の取り扱いについて	12

自治会館について

問 1 7. 自治会館の有無について	13
問 1 8. 自治会館の所有状況について	13
問 1 9. 自治会館の建設時期について	14
問 2 0. 自治会館運営上の課題について	14
問 2 1. 自治会館を所有していない自治会について	15
問 2 2. 自治会活動（総会等）を行う拠点について	15

自治会活動について

- 問 2 3. 自治会活動について 16～17
- 問 2 4. 自治会を運営する上での悩みについて 17
- 問 2 5. 親交がある自治会について 18～21
- 問 2 6. 自治会での課題解決について 21
- 問 2 7. 自治会の統合・再編について 22

自治会への加入について

- 問 2 8. 自治会への加入率について 23
- 問 2 9. 居住区域に住んでいない会員について 23
- 問 3 0. 加入促進の取り組みについて 23～24

自治会の連合組織について

- 問 3 1. 地区連合組織（自治会の連合体）への加入について 24
- 問 3 2. 地区連合組織の必要性について 24
- 問 3 3. 地区連合組織の役割について 25

地域づくり協議会等について

- 問 3 4. 市民センター事業について 25～26
- 問 3 5. 地域づくり協議会等に期待することについて 26

広報等配付物の配付状況や取り扱いについて

- 問 3 6. 広報等配付物の範囲について 26
- 問 3 7. 広報の配付方法について 27
- 問 3 8. 広報以外の配付物について 27
- 問 3 9. 広報等配付物の取り扱いに関する意見・要望について 27～28

防災について

- 問 4 0. 自主防災組織について 28
- 問 4 1. 防災訓練について 28
- 問 4 2. 緊急連絡体制の整備について 29
- 問 4 3. 市のメール配信システムについて 29
- 問 4 4. 自治会区域内の危険な場所について 29～30

自治会を支援する制度について

- 問 4 5. 自治会振興交付金について 31
- 問 4 6. 自治会元気づくり応援補助制度について 32
- 問 4 7. 自治会館建設事業費補助制度について 33

問 4 8．自治会コミュニティ再生応援事業の利用について・・・・・・・・・・	34
問 4 9．集落支援員活動事業の活用について・・・・・・・・・・	34
問 5 0．地域づくりリーダー研修会への要望について・・・・・・・・・・	35
問 5 1．新たに自治会を応援する支援制度等の意見・要望について・・・・	35

自治会の特徴・魅力・課題などについて

問 5 2．自治会のシンボル・資源・誇りについて・・・・・・・・・・	36～37
問 5 3．自治会内の課題について・・・・・・・・・・	38～39
問 5 4．その他自治会に関する要望や意見などについて・・・・・・・・・・	39

基礎調査結果

自治会の構成

自治会加入の状況	R2	H29
全世帯	12,878	13,129
自治会加入世帯	9,789	10,254
自治会非加入世帯	3,089	2,875
加入率	76.0%	78.1%

※「全世帯」は住民基本台帳による世帯数(各年7月末現在)

全12,878世帯のうち、「自治会加入世帯」が9,789世帯、「自治会非加入世帯」が3,089世帯、「加入率」は76.0%となりました。平成29年度の調査時より、「自治会加入世帯」が減少し、「自治会非加入世帯」が増加したことにより、「加入率」が低下しました。また、自治会加入世帯が10,000世帯を下回りました。

① 班数

班数	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
1～5 班	103	55.1%	96	51.0%
6～10 班	65	34.7%	68	36.2%
11～15 班	13	7.0%	12	6.4%
16 班以上	6	3.2%	12	6.4%
計	187	100%	188	100%

自治会の構成について、平成29年度に実施した前回調査時から「1～5 班以下」、「11～15班」の割合が増加し、「16班以上」の割合が減少しています。

② 会員世帯数

会員世帯数	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
1～50 世帯	109	58.3%	105	55.8%
51～100 世帯	59	31.6%	61	32.4%
101～150 世帯	15	8.0%	15	8.0%
151～200 世帯	3	1.6%	5	2.7%
201 世帯以上	1	0.5%	2	1.1%
計	187	100%	188	100%

会員世帯数について、前回調査時から「1～50世帯」の自治会数が増加し、「51～100世帯」「151～200世帯」「201世帯以上」の自治会数が減少しています。

③ 会員数

会員数	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
1～50 人	32	17.2%	32	17.1%
51～100 人	50	26.8%	45	23.9%
101～150 人	37	19.8%	36	19.1%
151～200 人	21	11.2%	24	12.8%
201～250 人	20	10.7%	22	11.7%
251～300 人	10	5.3%	10	5.3%
301～350 人	3	1.6%	3	1.6%
351～400 人	4	2.1%	4	2.1%
401 人以上	9	4.8%	8	4.3%
未記入	1	0.5%	4	2.1%
計	187	100%	188	100%

自治会員数について、前回調査時から「51～100人」の自治会数が増加し、「151～200人」「201～250人」の自治会数が減少しました。

④ 65 歳以上のみの世帯（高齢者世帯）がある自治会

65 歳以上のみの世帯	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
25 世帯以下	136	72.7%	138	73.4%
26～50 世帯	39	20.9%	37	19.7%
51～75 世帯	7	3.7%	4	2.1%
76～100 世帯	2	1.1%	3	1.6%
101 世帯以上	0	0.0%	0	0.0%
未記入	3	1.6%	6	3.2%
計	187	100%	188	100%

※世帯数は自治会が把握している数

⑤ 一人暮らしで 65 歳以上のみの世帯（独居高齢者世帯）がある自治会

一人暮らしで 65 歳以上のみの世帯	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
10 世帯以下	145	77.6%	141	75.0%
11～20 世帯	31	16.6%	32	17.1%
21～30 世帯	4	2.1%	3	1.6%
31～40 世帯	1	0.5%	1	0.5%
41～50 世帯	0	0.0%	0	0.0%
51 世帯以上	1	0.5%	1	0.5%
未記入	5	2.7%	10	5.3%
計	187	100%	188	100%

※世帯数は自治会が把握している数

⑥ 65 歳以上のみの世帯の状況

65 歳以上のみの世帯の状況	R2		H29	
	世帯数	割合	世帯数	割合
65 歳以上のみの世帯の合計	3,569	36.5%	3,406	33.2%
65 歳以上のみの世帯の合計のうち一人暮らしの世帯	1,303	13.3%	1,270	12.4%
自治会加入世帯	9,789	－	10,254	－

※自治会加入世帯に対する割合

※各世帯数は自治会が把握している数

65歳以上の高齢者のみの世帯について、自治会加入世帯の3割以上となっています。また、一人暮らしの高齢者世帯数については、自治会加入世帯の約1割となっており、前回調査時より世帯数、割合ともに増加しました。

自治会の組織体制の状況

役員の体制	全体 人数	男性		女性	
		人数	割合	人数	割合
会長	187	187	100%	0	0.0%
副会長	236	201	85.2%	12	5.1%
会計	187	142	75.9%	24	12.8%
監査	307	243	79.2%	34	11.1%
班長	983	579	58.9%	156	15.9%
その他	208	164	78.8%	36	17.3%
計	2,108	1,516	71.9%	262	12.4%

※全体人数には男女別が不明な人数も含まれています

※割合は各役員の合計人数に対する割合

組織体制の有無	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
有り	127	67.8%	140	74.5%
無し	38	20.4%	21	11.2%
未記入	22	11.8%	27	14.3%
計	187	100%	188	100%

※「組織体制有り」は下記の組織を1つ以上結成している自治会

組織体制	R2(127 自治会)		H29(140 自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
青年会のある自治会	55	43.3%	60	42.9%
婦人会のある自治会	68	53.5%	76	54.3%
子供会のある自治会	117	92.1%	120	85.7%
老人クラブのある自治会	64	50.4%	74	52.9%
その他	15	12.6%	16	11.4%

※組織体制があると回答した自治会に対しての割合

組織体制について、「有り」の割合は前回調査時より減少しており、各組織を結成している自治会数も減少しています。

会 計 年 度

会計年度	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
1月～12月	70	37.5%	69	36.7%
2月～1月	3	1.6%	3	1.6%
3月～2月	6	3.2%	6	3.2%
4月～3月	92	49.2%	89	47.4%
5月～4月	1	0.5%	1	0.5%
6月～5月	0	0.0%	1	0.5%
11月～10月	1	0.5%	1	0.5%
12月～11月	3	1.6%	1	0.5%
未記入	11	5.9%	17	9.1%
計	187	100%	188	100%

会計年度について、「4月～3月」、「1月～12月」の割合の合計が8割以上となり、ほとんどが会計年度のスタートを4月もしくは1月に設定しています。

地 縁 団 体 認 可 状 況

地縁団体認可状況	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
有	73	39.0%	70	37.2%
無	114	61.0%	118	62.8%
計	187	100%	188	100%

認可地縁団体として法人格を取得した自治会は、前回調査時から増加し73自治会となり、全体の約4割が地縁団体に認可されています。

所 有 財 産

所有財産	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
有	76	40.6%	61	32.4%
未記入、不明	111	59.4%	127	67.6%
計	187	100%	188	100%

※下記の「宅地」、「山林」、「その他」のいずれかに回答している自治会を「有」としている。

所 有 財 産 の 管 理 状 況

財産管理状況(76自治会中)	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
宅地(会館用地含む)	58	76.3%	55	90.2%
山林	34	44.7%	31	50.8%
その他	24	31.6%	21	34.4%

※「所有財産有」と回答した自治会に対する割合。複数回答可

財産を所有している自治会のほとんどが「宅地（会館用地含む）」、半数が「山林」を所有しています。その他として、グラウンドや神社がありました。

アンケート結果

会長や役員について

問1 会長の年齢について

会長の年齢	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
20歳代	1	0.5%	4	2.1%
30歳代	2	1.1%	0	0.0%
40歳代	9	4.8%	4	2.1%
50歳代	10	5.3%	16	8.5%
60歳代	101	54.1%	111	59.1%
70歳代以上	63	33.7%	52	27.7%
未記入	1	0.5%	1	0.5%
計	187	100%	188	100%

会長の年齢について、前回調査時より「20歳代」「50歳代」「60歳代」の割合が減少し、「30歳代」、「40歳代」、「70歳代以上」の割合が増加しています。また、「60歳代」と「70歳代以上」の合計は約9割となっています。

問2 会長歴(通算)について

会長歴	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
1年未満	42	22.4%	44	23.4%
1年以上3年未満	51	27.2%	41	21.8%
3年以上5年未満	30	16.1%	33	17.5%
5年以上10年未満	43	23.0%	48	25.6%
10年以上15年未満	13	7.0%	16	8.5%
15年以上20年未満	5	2.7%	3	1.6%
20年以上	1	0.5%	1	0.5%
未記入	2	1.1%	2	1.1%
計	187	100%	188	100%

会長歴(通算)について、前回調査時より「1年以上3年未満」、「15年以上20年未満」の割合が増加し、「3年以上5年未満」、「5年以上10年未満」、「10年以上15年未満」の割合が減少しています。

問3 会長の選任方法について(複数回答あり)

会長の選任方法	R2(187自治会)		H29(188自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
推薦	84	44.9%	89	47.3%
役員の中で互選	54	28.9%	50	26.6%
輪番制	19	10.2%	19	10.1%
選挙	26	13.9%	23	12.2%
抽選	0	0.0%	0	0.0%
その他	11	5.9%	11	5.9%
未記入	0	0.0%	2	1.1%

※「割合」は全自治会に対する割合

会長の選任方法について、「推薦」が最も多く、4割以上となっていますが、前回調査時より減少しており、「互選」、「選挙」の割合が増加しています。

問4 会長や役員の交代を円滑に行うための工夫について

※自由記載(主な回答を抜粋)

①4年分の役員を改選時に会員による選挙(1年6名×4年=24名)
②24名で会長4名を互選する。
③各年の会長が他の役員を指名する。
SNSアプリを利用し、役員同士が連携を図っている。
一度会長になると、長期務めることになり、次のなり手が出て来ないことから、2年前より会長の任期を2年とし、2年後に副会長が会長を行うことで長期をさけ、輪番制に近い方法をとっています。
これまで会長が多くの仕事を長くされていたので役割を細分化し多くの役員の皆様から受け持ってもらうことで負担の少ない会長としてなり手を検討し易いよう取り組んでいる。
事前に役員会を開き、協議している。
自治会員で集まって推薦。
全戸に役職がつくよう工夫しており、5年分を互選で決めます。
総会で役員(幹部)5名選出し、その役員で会長、会計などの役職を決めて5年間務める。

会長や役員の交代を円滑に行うためにしている工夫について、「事前に役員会で協議をしている」という取り組みが最も多くありました。

問5 会長の任期について

会長の任期	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
1年未満			3	1.6%
1年	24	12.8%	29	15.4%
2年	128	68.5%	127	67.6%
3年	12	6.4%	10	5.3%
4年	2	1.1%	1	0.5%
5年以上	0	0.0%	0	0.0%
決まっていない	21	11.2%	17	9.1%
未記入	0	0.0%	1	0.5%
計	187	100%	188	100%

会長の任期について、「2年」の割合が最も高くなりました。8割を超える自治会が任期を1年～2年としていますが、問2の結果と照らし合わせると、任期を終了しても再度会長を務めている方が多いことが分かります。

問6 役員会の開催頻度について

役員会の頻度	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
毎月	42	22.4%	39	20.7%
隔月	37	19.8%	30	16.0%
半年ごと	22	11.8%	20	10.7%
その他	81	43.3%	92	48.9%
未記入	5	2.7%	7	3.7%
計	187	100%	188	100%

※その他(主な回答を抜粋)

行事・事業開催にあわせて6回ぐらい行っている。
必要に応じてその都度行っている。
班長会議(役員の参加あり)を毎月行っている。
問題、課題発生時に行っている。

1年間の役員会の開催頻度について、「毎月」、「半年ごと」の割合は前回調査時と大きく変わりませんでしたが、「隔月」の割合が増加しました。その他として、「必要に応じて」、「行事にあわせて開催」などがありました。

問7 自治会業務の引継ぎについて

役員交代時の引継ぎについて	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
行っている	96	51.4%	101	53.7%
十分ではないが行っている	73	39.0%	66	35.1%
全く行っていない	11	5.9%	15	8.0%
未記入	7	3.7%	6	3.2%
計	187	100%	188	100%

役員交代時の引継ぎについて、「行っている」、「十分ではないが行っている」の割合は9割以上であり、前回調査時より若干増加しました。

問8 自治会業務の引継ぎの方法について(複数回答あり)

引継ぎの方法	R2(169自治会)		H29(167自治会))	
	自治会数	割合	自治会数	割合
マニュアル	28	16.6%	26	15.6%
マニュアル以外の紙文書	72	42.6%	59	35.3%
口頭	141	83.4%	105	62.9%
データ	27	16.0%	50	29.9%
その他	5	3.0%	12	7.2%
未記入	4	2.4%	8	4.8%

※問7で「行っている」または「十分ではないが行っている」と回答した自治会に対する割合

※自由記載(主な回答を抜粋)

各役職の新旧での引継ぎをするが、会計の内容については全員が立会う。
口頭及び資料の受け渡しを行っている。
口頭ではあるが、事業内容と照らし合わせ説明。
任期4～3月なので3月に役員交代時、前の役員と新役員を集めて合同会議を行う。
前会長には相談役としてその都度相談やアドバイスを頂きながら役員と協議しながら行っている。(祭典などの関係がある為)
会長が行った仕事については、年間の資料として引き継いでいる。自治会内の業務については副会長と会計が行っており、それぞれの仕事を引き継いでいる。
これまで作成した文書の引継ぎ。

引継ぎの方法について、「口頭」の割合が最も高く、引継ぎを行っている自治会の8割以上が行っており、また、4割以上の自治会が口頭とマニュアル、マニュアルとデータといったように、複数を組み合わせた引継ぎを行っています。そのほか、「引継ぎ書を用いた説明会」、「資料の引き渡し」などで行っています。

問9 会長および役員の報酬・謝礼について

報酬・謝礼の支出	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
している	134	71.7%	125	66.5%
していない	51	27.2%	57	30.3%
未記入	2	1.1%	6	3.2%
計	187	100%	188	100%

会長および役員に対する報酬や謝礼の支出について、「している」の割合が前回調査時より増加しています。

支出している役職	R2(134自治会)		H29(125自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
会長	129	96.3%	122	97.6%
副会長	81	60.4%	81	64.8%
会計	105	78.4%	104	83.2%
監査	33	24.6%	38	30.4%
班長	28	20.9%	33	26.4%
その他	42	31.3%	41	32.8%

※報酬・謝礼の支出をしていると回答した自治会数に対する割合

支出している役職については「会長」、「会計」、「副会長」の順に支出している自治会が多くなっています。

年会費について

問10 年会費の徴収について

年会費の徴収	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
している	178	95.2%	179	95.2%
していない	8	4.3%	6	3.2%
未記入	1	0.5%	3	1.6%
計	187	100%	188	100%

年会費の徴収について、「している」の割合が9割を超え、ほとんどの自治会で年会費を徴収しています。

年会費内訳	R2		H29		年会費の金額	自治会数
	自治会数	割合	自治会数	割合		
500円～1,000円	6	3.4%	3	1.7%	12,000円	37
1,001円～5,000円	14	7.9%	15	8.4%	6,000円	23
5,001円～10,000円	68	38.2%	75	41.9%	10,000円	12
10,001円～20,000円	74	41.5%	67	37.4%	8,400円	7
20,001円～50,000円	10	5.6%	14	7.8%	15,000円	7
50,001円以上	1	0.6%	2	1.1%	7,000円	7
未記入	5	2.8%	3	1.7%	9,600円	6
計	178	100%	179	100%	18,000円	6
					7,200円	6
					13,000円	6

※問10で「年会費の徴収をしている」と回答した自治会に対する割合

(回答が多い上位 10 位まで)

会費の内訳について、「5,001円～10,000円」と「10,001円～20,000円」の割合が他の内訳金額より高く、7割を超える自治会が年会費を5,001円～20,000円としています。また金額で回答数が最も多かったのは「12,000円」が37自治会、次いで「6,000円」が23自治会でした。

問11 年会費の減額について

自治会費減額	R2		H29	
	割合	割合	自治会数	割合
している	43	23.0%	37	19.7%
していない	137	73.3%	146	77.6%
未記入	7	3.7%	5	2.7%
計	187	100%	188	100%

減額している場合、その理由(複数回答あり)

減額の理由	R2(43自治会)		H29(37自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
高齢者夫婦の世帯	11	25.6%	5	13.5%
高齢者独居世帯	15	34.9%	12	32.4%
生活困窮	16	37.2%	13	35.1%
その他	10	23.3%	10	27.0%
未記入	2	4.7%	4	10.8%

※問11で「している」と回答した自治会に対する割合

会員(一般世帯)の年会費の減額について、「している」の割合が増加しています。約2割が「している」と回答しましたが、その理由については「生活困窮」、「高齢者独居世帯」の割合が高く、その他の減額理由として、「自治会区域外に居住している会員」、「借家世帯」などがありました。

問12 年会費の徴収方法について(複数回答あり)

会費の徴収方法	R2(178自治会)		H29(179自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
年1回まとめて徴収している	84	47.2%	69	38.5%
月ごとに徴収している	53	29.8%	59	33.0%
その他	49	27.5%	57	31.8%
未記入	7	3.9%	12	6.7%

※問10で「年会費の徴収をしている」と回答した自治会に対する割合

※自由記載(主な回答を抜粋)

3、6、9、11 月集金(班長)希望者は年1回で納入。
7月に前期、12 月に後期として年2回徴収。
会員の希望する方法により徴収する。
月ごとに徴収しているが、一括納付もできる。
年1回が基本だが、各家庭の都合に合わせている。

会費の徴収方法について、「年1回まとめて徴収している」や「月ごとに徴収」といった方法のほか、自由記載にあるように、「前期と後期の年2回」や「会員の希望する方法により徴収」という回答もありました。

会員名簿について

問13 会員名簿の作成について

会員名簿を作成しているか	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
はい	146	78.1%	140	74.5%
いいえ	36	19.2%	45	23.9%
未記入	5	2.7%	3	1.6%
計	187	100%	188	100%

会員名簿の作成について、「作成している」の割合が増加し約8割の自治会で名簿を作成しています。

問14 会員名簿の更新時期について

名簿の更新時期	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
1年更新	98	67.2%	99	70.8%
2年更新	11	7.5%	17	12.1%
3年更新	2	1.4%	2	1.4%
4年更新	1	0.7%	2	1.4%
5年更新以上	4	2.7%	1	0.7%
不定期	26	17.8%	19	13.6%
未記入	4	2.7%	0	0.0%
計	146	100%	140	100%

※問13で「はい」と回答した自治会に対する割合

会員名簿の更新時期について、「1年更新」としている自治会が最も多く、7割以上の自治会で「1～2年更新」としています。

問15 会員名簿の作成方法について

名簿作成に同意を得られた世帯のみ掲載している。
世帯主中心に作成。
氏名(世帯主)と住所のみである。世帯地図は全戸配付している。
町内会連絡網として世帯主及び電話番号まで掲載している。
総会で確認をとって作っている。希望であれば掲載しない。

会員名簿の作成方法について、「名前のほかに住所や電話番号を記載する」といった回答や、「地域内の世帯地図を作成している」という回答がありました。

問16 会員名簿の取り扱いについて

名簿の取扱い	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
会長のみ所持している	40	27.4%	32	22.9%
役員のみ配付している	22	15.0%	22	15.7%
加入世帯全戸に配付している	74	50.7%	77	55.0%
その他	8	5.5%	9	6.4%
未記入	2	1.4%	0	0.0%
計	146	100%	140	100%

※問13で「はい」と回答した自治会に対する割合

作成した会員名簿の取り扱いについて、「加入世帯全戸に配付している」の割合が最も高くなりました。

自治会館について

問17 自治会館の有無について

会館の有無	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
ある	153	81.8%	150	79.8%
ない	34	18.2%	33	17.5%
未記入	0	0.0%	5	2.7%
計	187	100%	188	100%

自治会館の有無について、約8割が「ある」と回答しました。

問18 自治会館の所有状況について

会館の所有状況	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
会館を所有している	124	81.0%	122	81.3%
他の自治会と共有している	5	3.3%	5	3.3%
市から借りている	17	11.1%	16	10.7%
市以外から借りている	3	2.0%	3	2.0%
その他	3	2.0%	4	2.7%
未記入	1	0.6%	0	0.0%
計	153	100%	150	100%

※問17で「自治会館がある」と回答した自治会に対する割合

自治会館の所有状況について、「会館を所有している」が最も多い結果となりました。

問19 自治会館の建設時期について

会館建設時期	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
昭和10年以前	0	0.0%	4	2.7%
昭和11年～29年	2	1.3%	5	3.3%
昭和30～49年	33	21.5%	38	25.4%
昭和50～64年	42	27.4%	41	27.4%
平成元年～10年頃	35	22.9%	26	17.3%
平成11年～20年頃	14	9.2%	14	9.3%
平成21年以降	3	2.0%	5	3.3%
不明	8	5.2%	8	5.3%
未記入	16	10.5%	9	6.0%
計	153	100%	150	100%

※問17で「自治会館がある」と回答した自治会に対する割合

自治会館の建設時期について、「昭和50～64年」の割合が高くなっています。また77自治会の自治会館が建築から30年以上経過しています。

問20 自治会館運営上の課題について(複数回答あり)

会館運営上の課題	R2(153自治会)		H29(150自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
会館が老朽化しており、建替えを検討している	9	5.9%	8	5.3%
改修を検討している	35	22.9%	42	28.0%
備品などの買い替えを検討している	32	20.9%	32	21.3%
維持管理費が負担になっている	27	17.6%	34	22.7%
その他	20	13.1%	27	18.0%
未記入	45	29.4%	22	14.7%

※問17で「自治会館がある」と回答した自治会に対する割合

※自由記載(主な回答を抜粋)

小規模の改修など毎年行っている。毎年補修箇所があるので課題になっている。
高齢化対策のため、畳をやめてフローリングタイプにしたい。
少しずつ改修をしている。改修の費用を毎年積立している。老朽化したときは補助が必要。
補助金の少なさなどにより前に進めていない。
冬期間の除雪に苦労している。

自治会館運営上の課題について、「改修を検討している」、「備品などの買い替えを検討している」と回答している自治会の割合が多くなっています。

自治会館を所有していない自治会について

問21 自治会館の建設予定について

自治会館の建設予定について	R2	
	自治会	割合
建設する予定はない	33	97.1%
建設する予定である	0	0.0%
建設を検討しているが時期は未定	1	2.9%
その他	0	0.0%
未記入	0	0.0%
計	34	100%

※問17で「自治会館がない」と回答した自治会に対する割合

会館を所有していない自治会について、1自治会が会館の建設を検討しています。

問22 自治会活動(総会など)を行う拠点について

自治会活動を行う拠点について	R2	
	自治会	割合
会長・役員宅	3	8.8%
公共施設(市民センターなど)	12	35.3%
他の自治会館を借りている	4	11.8%
神社	3	8.8%
その他	10	29.4%
未記入	2	5.9%
計	34	100%

※問17で「自治会館がない」と回答した自治会に対する割合

会館を所有していない自治会の活動拠点として「公共施設(市民センターなど)」と回答した自治会が多く、その他として「飲食店」、「ホテル」といった回答がありました。

自治会活動について

問23 自治会活動について

活動項目	① 現在、継続して行っている活動			② 今後、新たに行いたいと考えている活動	
		左の内、負担が大きいと思っている活動	左の内、他の自治会と連携して行っている活動	単独で行いたい活動	他の自治会と連携して行いたい活動
1. 住民への連絡	159	4	2	2	0
2. 広報の配付、市送付文書の回覧など	176	14	2	2	0
3. 地域清掃(クリーンアップ)	159	7	8	2	2
4. 市道の維持補修	66	8	1	1	2
5. 公園の管理	66	5	4	1	1
6. 農道・農地・農業用水路の管理	73	19	8	0	0
7. 堰根上げ・河川敷地の草刈り	101	24	13	1	1
8. 防犯活動(巡回活動)	34	1	0	3	2
9. 防災活動	80	4	0	6	6
10. 交通安全活動	94	3	4	1	3
11. 花壇づくり	68	2	0	0	1
12. 資源ごみの回収	83	3	1	3	0
13. 独居老人の訪問	50	2	1	4	0
14. 高齢者宅などの除雪	41	5	2	7	2
15. 敬老会	77	5	6	5	1
16. 運動会	56	8	13	0	0
17. スキー大会	16	2	3	0	1
18. 祭り・伝統行事など	93	11	11	3	3
19. 学習会など	27	0	1	0	2
20. 葬儀手伝い	72	2	0	2	1
21. 交流会	73	1	4	3	1
22. 子供会	101	0	8	1	2
23. 学校行事への参加	22	1	0	2	0
24. 自治会報の発行	33	2	1	0	0
25. ホームページの開設	0	1	0	0	0
26. 募金(戸別訪問)	72	15	1	3	0
27. 行政機関への要望	91	0	2	1	1
28. コミュニティビジネス	1	1	0	1	1
29. その他	4	1	1	0	0

現在継続して行っている活動について、「住民への連絡」、「広報の配付、市送付文書の回覧など」、「地域清掃(クリーンアップ)」、「祭り・伝統行事など」、「子供会」などが主なものとなっています。また、負担が大きいと思っている活動として多かったのが「堰根上げ・河川敷地の草刈り」、「農道・農地・農業用水路の管理」、「募金(戸別訪問)」、「広報の配付、市送付文書の回覧など」、「祭り・伝統行事など」ですが、これらの中には他の自治会と連携して行っているものもあります。

今後、新たに行いたいと考えている活動については、単独では「高齢者宅などの除雪」、「防災活動」、「敬老会」などでした。

問24 自治会を運営する上での悩みについて(複数回答あり)

運営する上での悩み	R2(187自治会)		H29(188自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
役員のなり手がいない	124	66.3%	116	61.7%
役員の負担が大きい	56	29.9%	60	31.9%
役員が高齢化している	87	46.5%	79	42.0%
未加入世帯が多い	5	2.7%	10	5.3%
予算が少ない	16	8.6%	25	13.3%
特定の人しか参加しない	49	26.2%	64	34.0%
世代間の交流が難しい	42	22.4%	39	20.7%
会員が無関心で協力・参加が得にくい	28	15.0%	20	10.6%
活動するための情報が不足している	3	1.6%	2	1.1%
活動中の事故が心配	18	9.6%	18	9.6%
他の地域や自治会との連携が弱い	7	3.7%	8	4.3%
その他	12	6.4%	9	4.8%
未記入	13	7.0%	11	5.9%

※「割合」は全自治会数に対する割合

※自由記載(主な回答を抜粋)

会員の高齢化により今後継続していけるか悩んでいる。
50代にならないと自治会活動に参加しないため、若い世代との交流が全くない。草刈実施日に保険をかけるが自治会負担となる。
自治会員が年々減少しており役員構成が困難になっている。
役員の交代が最大の課題(大部分が70代後半)。
会員の高齢化、自治会費の負担が難しい世帯が増えている。

自治会を運営する上での悩みについて、「役員のなり手がいない」、「役員が高齢化している」、「世代間の交流が難しい」、「会員が無関心で協力・参加が得にくい」の割合が前回調査時から増加し、「役員の負担が大きい」、「未加入世帯が多い」、「予算が少ない」、「特定の人しか参加しない」の割合は減少しました。

問25 親交がある自治会について

親交のある自治会	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
はい	87	46.5%	93	49.5%
いいえ	87	46.5%	82	43.6%
未記入	13	7.0%	13	6.9%
計	187	100.0%	188	100%

※以下回答のあった自治会の回答内容を記載

【八幡平地区】

回答	交流のある自治会等	活動や行事
熊沢	水沢、永田、谷内	草刈り
永田	谷内	運動会
谷内	永田、熊沢、水沢	四ヶ部落協議会として、四ヶ部落水路、大深沢、谷内間の管理運営
長嶺	川部	長嶺・川部運動会、大日堂舞楽、地域づくり協議会主催の各行事
川部	長嶺	運動会、大日堂舞楽
大里	玉内、葛岡、小豆沢	地区運動会、山林管理ほか
玉内	大里	運動会、マラソン大会などの行事への参加
葛岡	大里	運動会(スポーツ、駅伝、スキー大会ほか)
長牛	桃枝、夏井	消防団活動、養豚場査察
桃枝	長牛	未記入
白欠	長内	草刈事業、用水路の清掃
長内	白欠	未記入
三ヶ田	荒町、大久保	八幡平体育協会行事、山林、神社
大久保	三ヶ田、荒町、大久保	古四王神社例祭、地区対協への参加、上堰水路の維持管理
荒町	三ヶ田、大久保	三部落行事と神社行事
黒沢	石鳥谷	運動会
石鳥谷	黒沢	未記入
松館	石鳥谷、黒沢	松谷協議会

【尾去沢地区】

回答	交流のある自治会等	活動や行事
尾去	米代川沿いの自治会	神社、仏閣などの恒例行事の協力
下モ平	蟹沢、西道口、尾去	神社祭典、野球、グラウンドゴルフ、防災訓練
新山	蟹沢	側溝の清掃
松子沢	軽井沢	消防団

中央通	瓜畑	子供会の行事
下新田	中新田	草刈、防災活動など
中新田	下新田	ゴミ拾い

【十和田地区】

回答	交流のある自治会等	活動や行事
下小路(下)	館・古町	子ども会
南	五軒町・城ノ下・蟹沢	未記入
下町	上町・中町	毛馬内盆踊、運動会
高田	十和田地域づくり協議会、毛馬内市域開発懇談会、毛馬内北部用水路管理組合	毛馬内盆踊振興会、かづの大太鼓保存会、月山神社氏子総代会、毛馬内七夕まつり、毛馬内樽みこし協議会
土ヶ久保	中野	市民運動会への参加、堰根上げ
中野	土ヶ久保、関上	堰根上げ、運動会
蟹沢	三ノ丸	運動会
石野	末広地区	未記入
下芦名沢	十和田山根地区	十和田山根地区
関上	大川原	未記入
三ノ丸	蟹沢	市民運動会、子ども会行事
沢尻	松ノ木	未記入
浜田	古川、根市戸	農道の刈払い
下野添団地	浜田	子ども会
根市戸	浜田	堰根上げ、刈払い
松山	土深井、大欠、石野	未記入
大欠	松山、土深井、石野	未記入
土深井	松山、大欠、石野	未記入
箒畑	川上	未記入
四ノ岱	四ノ岱住宅	未記入
荒瀬	中岱	会館の管理
中岱	荒瀬	盆踊、子ども会
丁内	下ノ湯、川原ノ湯	下三町演芸会、観桜会
下ノ湯	丁内、川原ノ湯	下三町演芸大会(毎年9月)、合同花見会、温泉保養館の防災避難訓練
川原ノ湯	下ノ湯、丁内	演芸会
中草木	二本柳、下草木、丸館	未記入

【花輪地区】

回答	交流のある自治会等	活動や行事
沢口一区	上野馬場	未記入
沢口二区	沢口一区	一回のみ合同役員会を開催した。
館盆坂	沢口一区、荒屋敷	未記入
新田町(農)	新田町、新田町三区	祭、清掃作業
舟場町	舟場元町、新田町	七夕、花輪ばやし、など
谷地田町二区	谷地田町一区、坂ノ上	祭典など
坂ノ上	谷地田町一区、二区	未記入
大町	中堰向	花輪ばやし、自主防災
新町	下堰向、横町袋丁	お祭り、青年会、子供会、総会案内
横町袋丁	新町	祭典行事
中堰向	大町	花輪ばやし
下堰向	新町	花輪ばやし
旭町一区	旭町二区、旭町三区	全ての行事に連携している
旭町二区	旭町一区	花壇の植栽や世話。町内の遠足(1～3区)
旭町三区	旭町一区、旭町二区	祭、防災
久保田団地	大川添	民生委員
小坂二区	小坂一区、小坂三区	未記入
小坂三区	小坂一区、小坂二区	クリーンアップ、どんと焼き、祭典、会館維持、運動会
古館	東山、東山住宅、案内	四自治会役員親睦会、介護施設の防災訓練
案内	東山、古館、東山住宅	四自治会懇談会
用野目	鏡田、狐平、下川原、高屋、花軒田、曲沢	西山連絡協議会を設立して地域の課題などについて連絡、協議しながら活動している。
高屋	下川原、狐平、用野目、鏡田、花軒田、曲沢	各会長による協議会
鶴田	高市、長野、上台	共同の神社祭典、市役所への陳情
小深田	乳牛、鏡田	防災、山作業
乳牛二区	乳牛一区、小坂	未記入
西町	東町	草刈り
東町	西町	神社などの共同管理
小平	新斗米	未記入
高市	上台、長野、鶴田	四ヶ部落内の環境整備事業
長野	上台、高市、鶴田	山神社参拝、河川流域協議会
上台	長野、高市、鶴田	四ヶ自治会協議会
寺坂	平元地区コミュニティ	環境保全、平元大太鼓、盆踊り
小枝指	館、柴平	八幡神社の運営、管理、祭典
館	小枝指	八幡神社関連

親交のある自治会の有無については、前回調査時と比べ「親交がある」の割合が減少し「親交がない」と回答した自治会と同数になりました。協力・連携して行っている活動や行事については、クリーンアップや草刈りなどの環境整備活動、運動会や祭り、演芸大会などの交流行事や伝統行事が多くみられました。

問26 自治会での課題解決について(複数回答あり)

課題解決のために必要なこと	R2(187自治会)		H29(188自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
普段の付き合い	128	68.5%	136	72.3%
活動や趣味のグループづくり	24	12.8%	25	13.3%
祭りや行事の実施と参加	69	36.9%	79	42.0%
地域住民が地域の課題に関心を持つこと	87	46.5%	92	48.9%
会の情報を提供、共有すること	44	23.5%	41	21.8%
会の意思決定など、組織の運営を工夫すること	24	12.8%	32	17.1%
リーダーを育成すること	50	26.8%	57	30.3%
若い世代の参加	83	44.4%	84	44.7%
自治会の統廃合などの再編成	15	8.0%	14	7.4%
民生委員やPTAなど、他の組織との連携	22	11.8%	32	17.1%
その他	8	4.3%	8	4.3%
未記入	3	1.6%	13	6.9%

※「割合」は全自治会数に対する割合

課題解決のために必要なことについて、前回調査時と同様に「普段の付き合い」の割合が最も高くなりました。また、「地域住民が地域の課題に関心を持つこと」、「若い世代の参加」といった回答も多くなっています。

※自由記載(主な回答を抜粋)

私は全部必要だと思います。人(人口)が少ないです。人口を増やして鹿角に若い人が残ることが必要ではないかと思います。
地域から地元への愛着がないように見える。会員個々が率先して行動をしないと事業あるいは自治会そのものがなくなる恐れすら考えてしまう。
少子高齢化、人口減少が大きく活動に影響している。

問27 自治会の統合・再編について

自治会の統合・再編について	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
必要だと思う	27	14.4%	23	12.2%
必要だと思わない	50	26.8%	69	36.7%
今は必要ないがいずれは必要かもしれない	87	46.5%	84	44.7%
その他	3	1.6%	7	3.7%
未記入	20	10.7%	5	2.7%
計	187	100%	188	100%

統合・再編先の想定自治会	R2	
	自治会数	割合
想定先がある	12	44.4%
想定先はない	15	55.6%
計	27	100%

※「統合・再編が必要だと思う」と回答した自治会に対する割合

統合・再編に向けた協議	R2	
	自治会数	割合
行っている	1	3.7%
自治会内で検討中	5	18.5%
行っていない	20	74.1%
未記入	1	3.7%
計	27	100%

※「統合・再編が必要だと思う」と回答した自治会に対する割合

統合・再編に向けた課題(複数回答あり)	R2(27自治会)	
	自治会数	割合
自治会財産の取扱い	11	40.7%
自治会同士が離れている	1	3.7%
規約や会費の違い	16	59.3%
組織が大きくなることでの役員の負担増	4	14.8%
伝統行事の存続	5	18.5%
その他	2	7.4%
未記入	6	22.2%

※「統合・再編が必要だと思う」と回答した自治会に対する割合

自治会の統合・再編について、前回調査時と同様に「今は必要ないがいずれは必要かもしれない」の割合が最も高くなりました。また、統合・再編に向けた課題として「規約や会費の違い」、「自治会財産の取扱い」と回答した自治会が多くなりました。

自治会への加入について

問28 自治会への加入率について

自治会加入率	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
全戸加入している	93	49.8%	90	47.9%
90%程度	51	27.2%	66	35.1%
90%未満～80%以上	20	10.7%	18	9.6%
80%未満～50%以上	11	5.9%	10	5.3%
50%未満	2	1.1%	1	0.5%
未記入	10	5.3%	3	1.6%
計	187	100%	188	100%

自治会の加入率について、半数の自治会が「全戸加入している」と回答しており、「90%程度」と合わせた割合は約8割となりました。

問29 居住区域に住んでいない会員について

自治会区域内に住んでいない会員の有無	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
はい(住んでいない会員がいる)	65	34.8%	67	35.7%
いいえ(住んでいない会員がいない)	113	60.4%	114	60.6%
未記入	9	4.8%	7	3.7%
計	187	100%	188	100%

自治会区域内に住んでいない会員の有無について、前回調査時とほぼ変わらず、「はい」(住んでいない会員がいる)の割合は、3割以上となっています。

問30 加入促進の取り組みについて

加入促進の取組	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
自治会で作成したポスターやチラシを配付するなど啓発に努めている	6	3.2%	3	1.6%
戸別訪問して加入を呼びかけている	39	20.9%	44	23.4%
特に何もしていない	105	56.1%	99	52.6%
その他	6	3.2%	10	5.3%
未記入	31	16.6%	32	17.1%
計	187	100%	188	100%

※自由記載(主な回答を抜粋)

今は活動を理解いただくため、地域だよりを配付。
加入するかどうか確認して名簿作成。新しく転入した方には加入を勧めている。
「新規転入されてきた皆様へ」を作成してA4あいさつ文で勧誘。

加入促進の取組について、「特に何もしていない」の割合が5割以上となっており、前回調査時から割合が増加しています。また、「戸別訪問して加入を呼びかけている」の割合が減少しています。

自治会の連合組織について

問31 地区連合組織(自治会の連合体)への加入について

地区連合組織	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
加入している	82	43.9%	85	45.2%
加入していない	76	40.6%	75	39.9%
加入を検討している	1	0.5%	1	0.5%
組織がない	15	8.0%	19	10.1%
未記入	13	7.0%	8	4.3%
計	187	100%	188	100%

地区連合組織への加入について、「加入している」の割合が減少し、「加入していない」の割合が増加しています。

問32 地区連合組織の必要性について

地区連合組織	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
必要である	91	48.7%	102	54.2%
必要でない	69	36.9%	65	34.6%
未記入	27	14.4%	21	11.2%
計	187	100%	188	100%

地区連合組織の必要性について、「必要である」の割合が前回調査時より減少し、「必要でない」の割合が増加しました。

問33 地区連合組織の役割について(複数回答あり)

連合組織の役割	R2(187自治会)		H29(188自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
行政への要望書提出	54	28.9%	72	38.3%
行政から自治会への各種依頼、事業協力の調整	22	11.8%	31	16.5%
自治会相互の連携事業や連絡調整	46	24.6%	58	30.9%
単位自治会と活動内容が重複している			1	0.5%
加入していないのでわからない	66	35.3%	55	29.3%
その他	2	1.1%	6	3.2%
未記入	31	16.6%	26	13.8%

※「割合」は全自治会数に対する割合

地区連合組織の役割について、「行政への要望書提出」、「自治会相互の連携事業や連絡調整」の割合が高くなりました。その他には、「情報交換の場として必要」といったものがありました。

地域づくり協議会等について

問34 市民センター事業について

センター行事への参加	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
ある	94	50.3%	96	51.0%
ない	84	44.9%	77	41.0%
未記入	9	4.8%	15	8.0%
計	187	100%	188	100%

昨年1年間の市民センター行事への参加について、「ある」の割合が前回調査時から減少し、「ない」の割合が増加しています。

参加した事業(複数回答あり)

参加行事	R2(94自治会)		H29(96自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
市民運動会	64	68.1%	64	66.7%
市民スキー大会	22	23.4%	25	26.0%
子供会行事	51	54.3%	48	50.0%
各種講演会	40	42.6%	44	45.8%
文化事業	43	45.7%	45	46.9%
その他	9	9.6%	8	8.3%

※問34で「ある」と回答した自治会に対する割合

参加した市民センター行事について、前回調査時とほぼ変わらず、「市民運動会」の割合が最も高く、「子供会行事」についても5割以上が参加しています。しかし、前回調査時と比べ、「市民スキー大会」、「各種講演会」、「文化事業」の割合が減少しました。

問35 地域づくり協議会等に期待することについて（複数回答あり）

地域づくり協議会に期待すること	R2(187自治会)		H29(188自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
生涯学習に関する各種学級・講座の開催	22	11.8%	24	12.8%
自治会活動の支援	56	29.9%	46	24.5%
芸術、文化、スポーツなど趣味的な事業の開催	23	12.3%	23	12.2%
自治会向けの講座の開催	19	10.2%	12	6.4%
生涯スポーツを通じて健康づくりと親睦を深める事業の開催	23	12.3%	22	11.7%
このままでよい	67	35.8%	61	32.4%
その他	4	2.1%	10	5.3%
未記入	26	13.9%	36	19.1%

※「割合」は全自治会に対する割合

地域づくり協議会等に期待することについて、「このままでよい」の割合が前回調査時と同様に最も高くなっています。また、「自治会活動の支援」、「自治会向けの講座の開催」の割合が増加しており、自治会への支援を地域づくり協議会に期待していることがわかります。

広報等配付物の配付状況や取り扱いについて

問36 広報等配付物の範囲について

広報配付範囲	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
自治会加入世帯のみ	119	63.7%	109	58.0%
自治会未加入世帯を含む	54	28.9%	66	35.1%
その他	4	2.1%	4	2.1%
未記入	10	5.3%	9	4.8%
計	187	100%	188	100%

広報などの配付範囲について、「自治会加入世帯のみ」および「自治会未加入世帯を含む」を加えた割合は9割を超えています。その他として、「アパートの住居者」や「駅や郵便局」といったものがありました。

問37 広報の配付方法について

配付方法	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
会長または配付担当員が仕分けして配付	44	23.5%	41	21.8%
会長または配付担当員が仕分けして班長などが配付	121	64.7%	125	66.5%
会館などに設置し、会員が各自取りに来る	0	0.0%	2	1.1%
その他	16	8.6%	10	5.3%
未記入	6	3.2%	10	5.3%
計	187	100%	188	100%

広報の配付方法について、「会長または配付担当員が仕分けして班長などが配付」の割合が最も高く、仕分けと配付で役割分担をしている自治会が多数ありました。その他として、「役員会で仕分けし、班長が配付」といったものがありました。

問38 広報以外の配付物について

チラシなどについて	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
これまで通りでよい	68	36.4%	58	30.9%
減らしてほしい	63	33.7%	63	33.5%
広報に全てまとめてほしい	44	23.5%	53	28.2%
その他	3	1.6%	5	2.6%
未記入	9	4.8%	9	4.8%
計	187	100%	188	100%

広報以外の配付物(チラシなど)について、「これまで通りでよい」の割合が増加しましたが、「減らしてほしい」、「広報に全てまとめてほしい」の割合の合計が5割を超え、広報以外の配付物が多いと感じている自治会が多数ありました。

問39 広報等配付物の取り扱いに関する意見・要望について(主な回答を抜粋)

回覧物は日数がかかるためやめてほしい。
種類が多いので大変、全部見ているのかわからない。
普段市民へ周知する方法とし、広報などは一番だと考えているので増えてもかまわない。
戸別に郵送してほしい。
配付物は必要なものも多いと思われませんが、多くなりますと配付担当と各班長さんの負担が多くなる。
配付物を含め、自治会への依頼が多い。

全世帯への配付は必要か？必要な人が取りに行くでもよいのではないか？（支所、スーパーなど）読んでいない人が多いのではないか。

エコのため紙ベースを減らしてネット上で見られる様にできたらいいですね。お年寄りなど、ネット見れない人は、市の施設又は病院などに行く機会が多いのでそちらで情報収集できるようになれば…。

広報以外の配付物の封筒がもったいない。

チラシはあまり難しくなく、皆が見やすく大きな字にしてほしい。はたして配付物をすべて見てる人が何人いるか。重要な事は字を大きくし、簡単に、わかりやすいようにしたらどうか。

広報等配付物の取り扱いに関する意見・要望について、「配付物の種類が多い」という意見のほか、「ネットを利用した情報発信」などがありました。

防災について

問40 自主防災組織について

自主防災組織	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
結成している	89	47.6%	86	45.7%
結成を検討している	17	9.1%	19	10.1%
検討していない	75	40.1%	75	39.9%
未記入	6	3.2%	8	4.3%
計	187	100%	188	100%

自主防災組織について、「結成している」の割合が前回調査時より増加しており、また、約1割の自治会が「結成を検討している」と回答しています。

問41 防災訓練について

防災訓練の実施	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
実施している	68	36.4%	69	36.7%
実施していない	108	57.7%	105	55.9%
未記入	11	5.9%	14	7.4%
計	187	100%	188	100%

防災訓練について、前回調査時から「実施している」の割合が減少し、「実施していない」の割合が増加しました。

問42 緊急連絡体制の整備について

緊急連絡体制の整備	R2	
	自治会数	割合
整備している	102	54.6%
整備していない	67	35.8%
未記入	18	9.6%
計	187	100.0%

緊急連絡体制を整備状況について、5割以上の自治会で「整備している」と回答しました。

問43 市のメール配信システムについて

情報メール	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
すでに登録済み	104	55.7%	114	60.6%
今後登録したい	61	32.6%	46	24.5%
登録は難しい	12	6.4%	13	6.9%
未記入	10	5.3%	15	8.0%
計	187	100%	188	100%

市の情報メール配信システムについて、「すでに登録済み」と回答した会長の割合が前回調査から減少しました。多くの住民に素早く様々な情報を発信できる情報メールですが、自由記載欄では「関係のない配信が多い」、「必要のないメールが多い」などの意見がありました。

市の情報メール配信システムは、必要な情報だけを受信できるよう設定することも可能ですので、ご不明な点につきましては、総務課危機管理室までお問い合わせください。

問44 自治会区域内の危険な場所について

危険箇所	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
ある	81	43.3%	89	47.3%
ない	91	48.7%	79	42.0%
未記入	15	8.0%	20	10.7%
計	187	100%	188	100%

※ある場合の具体的な場所

増水による橋の通行(熊沢橋、杉谷地橋、老沢橋)、国道341号不動岩地内。
熊沢川に架かる長嶺橋から米代川と合流するまでの川底が年々高くなっているため、大雨時の熊沢川越水が心配。
堂の前、上沢田、新城の土砂崩れが心配。

熊沢川堤防の決壊が心配。
市道(大地平線)がけ崩落。
土砂災害:タタラ通り山側。
土砂災害(山根地区)。
自治会内の排水溝、集水桝のつまり(老朽化、破損)。
元々急傾斜地対策地域であるが、配水池側より市道へ出水している箇所があり、下の家の住人より怖いと申し出があった。現在立木が伐採されて気づいたが、一部が砂防の必要があると感じる。全体的に地下構造が疑問で不安である。
土砂災害警戒区域に町内会の1、2班が入っている。
押出地内の急傾斜地。
月山神社里宮前の県道が急カーブとなって危険なので改修を要望する。
大湯川(大雨による災害・熊などの出沒)。
小坂川の氾濫。堤防を越えた場合、自治会館を避難場所とできない(土地の場所が高くない)。市民センターも決して高い安全な場所に立地しているとは言えないし、部落から少し遠い。
特に危険はないが、数年に1度の雨が年に1~2回あるので、災害が毎年ある。
大川原橋の老朽化が激しい。電柱に取付けている街灯がLEDに変更後照度が前より低いので暗い。街灯の設置数が足りない。
地域全体が山沿いに位置し、土砂災害の危険地区にある。
町内会区域は急傾斜地指定になっているため、災害などに特に注意するように呼び掛けている。
豊真木沢川周辺、護岸工事が必要。毎回の増水で被害が出る。
町内の道路が狭く、電柱が道路に立っていることもあり子供達の通学などで非常に心配しています。万山林の登り口の坂が急で曲がっている為、大雨の時に水が坂から大量に流れ下ったこともあり、対面している家屋が心配である。避難所が花輪高校で避難経路としても心配している。
1. 花輪高校裏の市道が狭い。高校が統合されるまでに拡幅改善をしていただきたい。バス路線にしては危険が大きいと思います。
2. 新田町のマルホンと市営住宅向かいの法面について、雨が降った後、所々少しずつ土砂崩れが起きています。
花輪小学校の西側法面。大堰(大雨の時)。
大雨の時に、大堰の水が溢れたことがあり、水量管理を徹底してもらいたい。
特に牛川原地域。大雨が降ると米代川の水位が気になり川を数回見に行きます。
大雨などで米代川堤防が決壊しないか不安。
自治会内を流れる花軒田川。西山方面への農道。
鶴田部落内を通る市道を、速度 40km制限で追越禁止、大型車両通行禁止にしてほしい。国道の時代は追越禁止、速度 40kmであった。朝早く大型車両が速度 70~80kmで通行するので危険である。
自治会区域と森林組合の間に川があり、何年か前に流木などの被害が発生しており、危険箇所と認識している。

自治会区域内の危険な場所について、「ある」の割合が前回調査時から減少しましたが、大雨による災害や交通安全に対する不安が多く挙げられています。

自治会を支援する制度について

問45 自治会振興交付金について

交付額＝基本額(24,600 円～33,400 円)＋広報を配付する世帯対応額(600 円×世帯数)

(例) 50 世帯の場合 25,800 円＋600 円×50 世帯＝55,800 円

自治会振興交付金について	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
現状のままでよい	158	84.5%	153	81.4%
見直しをしてほしい	14	7.5%	17	9.0%
未記入	15	8.0%	18	9.6%
計	187	100%	188	100%

※自由記載(主な回答を抜粋)

基本額 10,000 円、世帯対応額 100 円の値上げをお願いしたい。

世帯対応額 600 円/12 か月＝50 円/1 件、高いのか低いのか判断できないが、郵送だと最低 84 円。

高齢者世帯が多くなり、会費が負担になっていると思うが減額できない状況であり、交付金を増やして欲しい(高齢者世帯減額のため)。

全体的に値上げを希望します。

世帯数が少ないのでどうしても予算が不足するので見直してほしい。

今後会員が減ると会費もままならないので増やして欲しい。

基本額をもっと高くしてほしい。大きい自治会、小さい自治会関係なく。世帯対応額は下げても良いと思う。段々少なくなっているから。

自治会振興交付金の内容について、8割以上が「現状のままでよい」と回答し、その割合も前回調査時より増加しているほか、増額を求める意見があります。

問46 自治会元気づくり応援補助制度について

福祉事業、環境整備事業、文化事業、交流事業などの主に活動費に対して補助金を交付します。会員世帯数が 30 世帯以下の場合は補助率4分の3、限度額 15 万円。それ以外の自治会は補助率2分の1、限度額は 10 万円です。

自治会元気づくり応援補助制度について	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
現状のままでよい	148	79.1%	144	76.6%
見直しをしてほしい	20	10.7%	15	8.0%
未記入	19	10.2%	29	15.4%
計	187	100%	188	100%

※自由記載(主な回答を抜粋)

3年→2年に1回助成金が使用できるようにしてほしい。
限度額のアップ。上限 10 万円では十分な事業ができない。
活動内容の規制をなくし、何にでも利用できるようにしてほしい。
補助率のアップをしてほしい。
補助率 100%にしてほしい(限度額はあってよい)。
市道の法面や歩道の草刈り除草をやっています。本来市の道路ですから、市で行うべきことと考えます。もし、町内で行うのであれば、環境整備事業として手厚い支援をお願いします。
祭などの事業を進める上で多額の予算を必要としており、交付額の増加をお願いしたい。
七夕の太鼓の修理は高額なので限度額を上げてほしい。

自治会元気づくり応援補助制度について、約8割が「現状のままでよい」と回答し、その割合も前回調査時より増加していますが、「見直しをしてほしい」の割合も増加しており、補助率や限度額の増加を求める意見があります。

問47 自治会館建設事業費補助制度について

自治会館の新增築や改修に対して補助金を交付します。新築は、会館規模に応じて補助金を算定し、補助率は概ね 30%以内です。改修は、補助率 2 分の 1、限度額は 50 万円または 100 万円です。

自治会館建設事業費補助制度について	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
現状のままでよい	132	70.5%	132	70.2%
見直しをしてほしい	30	16.1%	21	11.2%
未記入	25	13.4%	35	18.6%
計	187	100%	188	100%

※自由記載(主な回答を抜粋)

一度制度を利用することで、数年補助金を申し込みできない。事業金額によってなど、制度の見直しをしてもらいたい。
高齢者世帯の増加、年金暮らしの世帯から建設負担を願うのが難しい状況
改修を計画しているが、自己負担半分がネックになっている。自己資金に余裕がある自治会でなければ実施できない。
新築については 50%以上ほしい。
限度額と補助率のアップを希望します。
世帯数が減少、また、高齢化しているため多額の借入金は無理かと思う。
新築補助率を 30%でなく 70%が本音だと思います。また改修ですが、利用制限を見直してほしい。改修から次に改修するまでの期間が長い。
解体を検討中なので解体費用の補助をお願いしたい。
改修の利用制限をなくして必要に応じて使わせて頂きたい。
年間の会費などの中から改修などのために積み立てを行っているが、年間の積み立て額が少ないため目標になかなか到達しない。補助率をもっと増やしてほしい。
会館は無いが、高齢化で建設も不可。神社を借用しているが、補修費など可能になるようにしてほしい。
会館を共同で所有しているが、少子高齢化により、新築改築の可能性は低くなってきている。改修でしのぐしかないが、改修費を抑えるためには、将来的には一部解体を視野に入れなければならない。補助率は低くせざるをえないだろうが、将来的には解体、一部解体の補助があってもよいのではないか。
補助率を4分の3程度まで上げていただくと築年数が古い場合に利用しやすい。

自治会館建設事業費補助制度について、「現状のままでよい」と回答した自治会は前回調査時と同様ですが、「見直しをしてほしい」と回答した自治会が増加しています。見直しをしてほしい内容として「限度額・補助率の増加」、「改修事業の利用制限期間の見直し」、「解体に対しての補助を検討してほしい」といった意見がありました。

問48 自治会コミュニティ再生応援事業の利用について

規模の小さい自治会(概ね 30 世帯以下、55 歳以上の割合が 50%以上)を対象に、自治会の活力再生のための活動事業と、その準備段階である活動計画策定事業に対して補助を行います。計画策定事業は補助率 10 分の 10、限度額 10 万円。活動事業は補助率 10 分の 10、限度額 50 万円です。2つ以上の自治会が連携して事業を行う場合は活動事業の補助限度額が 100 万円になります。

自治会コミュニティ再生応援事業の利用について	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
利用したいと思う	38	20.4%	32	17.1%
利用したいと思わない	36	19.2%	33	17.5%
対象外のためどちらでもない	77	41.2%	83	44.1%
未記入	36	19.2%	40	21.3%
計	187	100%	188	100%

自治会コミュニティ再生応援事業の利用について、対象となる自治会のうち約3割の自治会が「利用したいと思う」と回答しました。

自治会コミュニティ再生応援事業は集落支援員によるサポートを行っておりますので、市民共動課までお問い合わせください。

問49 集落支援員活動事業の活用について

自治会と協力しながら「状況調査」を実施し、調査結果を基に自治会の現状や課題、将来の自治会像などの「話し合い」を行い、それぞれの自治会の状況に応じた「活性化の取組」を支援します。

集落支援員活動事業の活用について	R2		H29	
	自治会数	割合	自治会数	割合
活用したいと思う	29	15.5%	42	22.3%
活用したいと思わない	73	39.0%	59	31.4%
話だけでも聞いてみたい	38	20.4%	46	24.5%
すでに活用している	6	3.2%		
未記入	41	21.9%	41	21.8%
計	187	100%	188	100%

「集落支援員活動事業」について、「活用したいと思う」、「話だけでも聞いてみたい」を合わせた割合は3割を超えています。今後も各自治会長を訪問し、集落支援員活動事業について周知していく予定ですので、ご協力をお願いします。

問50 地域づくりリーダー研修会への要望について

毎年、地域コミュニティのさらなる活発化及び課題解決のため、自治会長などを対象に講演や活動報告を行っています。

令和元年度は、能代市梅内聚落による活動紹介を実施しました。

令和2年度は、秋田県の「地域の女性リーダー育成事業」とあわせて開催し、能代市上町自治会会長 能登 裕子氏とNPO法人秋田県北支援センター事務局長 浅利 博樹氏による講演と本市移住コンシェルジュや集落支援員による活動報告を実施しました。

※自由記載(主な回答を抜粋)

同じくらいの規模の自治会で活発に活動している自治会の研修。
多様な自治会活動事例の紹介。
資源を利活用している集落の内容だけではなく、何も無い自治会による身近なテーマでの研修。
自治会の会員が一般的な家庭の集合体での活動などを研修したい。
研修を実施した自治会などの活動は一般自治会では取り組み不可能のように感じます。
会長だけでなく若い人たちが参加できるような研修会を希望します(興味を持ってもらえる内容)。
事例に学びたいと思っているので、特徴ある取り組みであれば何でもいいです。
H30年度、R元年度の研修会に参加しておりますが、当町内に於いては資源や町内財産などは何もなく、世帯数の減少も気になる要因ですので、そういう所の事例とかの紹介とかもして頂ければ大変ありがたいです。
二ツ井、藤里地区の活動紹介を希望します。
各自治会で特に頑張っている行事や取組などの報告。会報の発行など、市内の自治会の交流。
夜の開催にしては時間が長い。

地域づくりリーダー研修会への要望について、「若い人たちが参加できるような内容にしてほしい」といったものや、「市内自治会の取り組み紹介」など、様々な要望がありました。今後も、自治会の課題解決の一助となるよう研修会を開催しますので、ご参加くださいますようお願いいたします。

問51 新たに自治会を応援する支援制度などの意見・要望について

※自由記載(主な回答を抜粋)

山林作業道の災害(水害による損壊など)に対する助成制度。作業道が流れたり、土砂が積もったり、自治会自力では復旧対応ができなくなっている。山の管理が増々できない状況。
住民情報を自治会(役員限定でも)に提供してもらいたい。
集落の文化などの継承に支援を希望する。
会館について、解体後の跡地利用計画にコミュニティセンターを希望。
高齢化により運営が困難になるので、自治会に付する担当員が必要になる。(市職員または臨時職員)

自治会を応援する新たな取組や支援制度について、「山林作業道の災害復旧に対する助成制度」、「集落文化の継承支援制度」などの意見がありました。

自治会の特徴・魅力・課題などについて

問52 自治会のシンボル・資源・誇りについて(複数回答あり)

自治会のシンボル・資源・誇りに思うもの	R2(187自治会)		H29(188自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
自然環境	52	27.8%	45	23.9%
街並み・建物	12	6.4%	8	4.3%
温泉	8	4.3%	7	3.7%
祭り	35	18.7%	34	18.1%
郷土芸能	29	15.5%	26	13.8%
伝統工芸	1	0.5%	2	1.1%
遺跡・史跡	10	5.3%	14	7.4%
特産物	3	1.6%	6	3.2%
水資源	8	4.3%	13	6.9%
動植	1	0.5%	5	2.7%
郷土料理	2	1.1%	2	1.1%
産業	2	1.1%	1	0.5%
その他	10	5.3%	10	5.3%
未記入	76	40.6%	84	44.7%

※「割合」は全自治会に対する割合

※具体的にどのようなものがあるか

八幡神社先祓舞、大日堂舞楽
大里川原稻荷神社先祓舞、大日堂舞楽、大清水綱引き、産土神社祭典、四角刈払い
炭焼体験、ピザ焼き
サンショウウオの里
松館しぼり大根、菅原神社、春の大祭
のどかな風景、山林、ため池、大森親山獅子大権現舞、神社、仏閣
史跡尾去沢鉱山の居住区
野生動物が多くみられる。熊、カモシカ、キツネ、タヌキ、アナグマ、キジ(他の鳥も多い)、テン、リス
月山神社(里宮)
地域の大太鼓保存、虫おくり、豊作まつり、地藏様、毛馬内盆踊を子供たちへの指導継承。地区行事の毛馬内七夕祭り、毛馬内樽みこしなどへの参加継続
太鼓
しそ巻き大根、自治会所有の公園
青年会の活動、盆踊、七夕など
新興住宅地につき、歴史も浅く特になし。毛馬内盆踊子供コンクールには積極的に参加し引き継いでいく。

金精神社
神事、子供みこし巡礼、錦木塚
古川大太鼓
鹿倉公園・下ノ湯共同浴場・下三町演芸大会・大湯ばやし。薬師神社、鹿倉神社、相馬大作史蹟の碑
古くから使われている井戸、水量が一定していて枯れたことがない。
水害に強い住宅環境にある。庭に植物・花などを定植し静かで穏やかな住宅環境にある
花輪ばやし参加と万山林の井戸があり、この井戸をいかした町内づくりを頭に入れて考えていければと思っています。
住人の素晴らしさ、期待の持てる若者の多さ
舟場は、元舟場とともに江戸時代から尾去沢鉱山とともに発展してきている。たんぽ、きりたんぽはその時の山子の料理として発展したもの。しかし、現在の舟場にはその跡は残っていない。地蔵尊は残っている。百人一首は花輪の中で一番古く発展したもの、子ども会の活動として残っている。
旧関善屋敷、市日、寺社、おせど、花輪ばやし、ねぶた
花輪ばやし参加町
近隣自治会との合同のバス遠足、商盛会と一緒に花壇作り作業、婦人部を中心とした交流事業、葬式の場合の協力
上中島、牛川原の2公園。どちらも子供の遊び場となっているため、清掃、芝の手入れに回数を増やすなど気を付けている。
河川公園がそばにある。ゆたろう温泉がある。
地域内に福祉施設、神社、スキー場がある。
会員同士の交流(運動会や敬老会など)、ボランティアでの草刈り、草取り、花植え、役員のやる気
小坂3地区で行っている運動会、祭典、どんと祭などです。
十一面観音像
桃、ブルーベリー
会員の信頼、繋がり。自治会独自の行事を実施することで、会員同士の交流が生まれている。

自治会のシンボル・資源・誇りに思うものについて、前回調査時と同様に「自然環境」の割合が最も高く、次いで「祭り」や「郷土芸能」の割合も高くなりました。

問53 自治会内の課題について(複数回答あり)

現在の自治会の課題	R2(187自治会)		H29(188自治会)	
	自治会数	割合	自治会数	割合
地域や集落の景観保全	17	9.1%	17	9.0%
地域安全・防犯・防災	53	28.3%	44	23.4%
河川・水路・水源の維持管理	46	24.6%	61	32.4%
地域文化の継承・保存	37	19.8%	39	20.7%
公園・道路の維持管理	27	14.4%	30	16.0%
空き家等の適正管理	80	42.8%	83	44.1%
一人暮らし高齢者世帯の増加	112	59.9%	121	64.4%
ごみや騒音などの環境問題	6	3.2%	13	6.9%
自治会の存続	31	16.6%	41	21.8%
自治会活動の停滞	28	15.0%	38	20.2%
会員数の減少	85	45.5%	95	50.5%
その他	4	2.1%	6	3.2%
未記入	23	12.3%	14	7.4%

※「割合」は全自治会に対する割合

※自由記載(主な回答を抜粋)

交通事故防止、詐欺被害防止、高齢者への支援、緊急時の体制づくりなど。
水田保全のための補助があつて草刈などに活用しているが自治会館廻りの美化、グラウンド、公園の維持のための補助も出してほしい。維持管理が自治会員の負担になってきている。
壊れかけている空き家がある。持ち主に解体してほしい。集落よりいなくなった人の土地が荒れ放題になり、周りの土地の方に迷惑になっていそうな土地も増えてきている。
次世代の自治会への関心、参加が課題。
自治会行事、活動で特定の参加者でやりくりすることが大変である。また、祭に関しては、当自治会では若者の数が少なく、他自治会の若者の協力で何とか実施出来ている状態で、ここ数年はらはらの状態で行っている現状である。
住みよい町内ということを考えていますが、役員で話し合いをすると、必ずしも盛り上がる必要を感じておらず、日々平穏な生活を望んでいるようです。これは見ようによっては停滞ともとれます。
自治会を脱退する会員の残留を説得することが難しい(理由がない)。会員でなくても困らない。考え方が都会化している。
ひとり暮らしだけでなく高齢者夫婦の増加。コロナ感染症防止のため、各行事の中止(総会、バーベキュー大会など)。公園の清掃活動に労力が多くかかっている。芝刈り、草取り、除草剤の散布。自治会館の老朽化。
子どもの数が少なく子ども会の活動ができていない。

自治会の課題については、「一人暮らし高齢者世帯の増加」の割合が最も高く、約6割の自治会で課題として捉えています。次いで「会員数の減少」、「空き家の適正管理」の割合が高くなっています。また、前回調査時と比べ、「地域安全・防犯・防災」の割合が増加しています。

問54 その他自治会に関する要望や意見などについて(主な回答を抜粋)

自治会についての要望や意見
私は鹿角に生まれて育って、鹿角にとどまってくれる若い世代が残ることが一番大きな課題だと思います。働く場所、そのほかいろいろなことがあると思います。
災害時、避難場所が市民センター・小中学校になっているが、当自治会からは遠く、また、高齢者なども多いことから、自治会館を準備している。地域防災計画上の位置づけがないことから責任の所在が不明確である。今後検討を要望する。
県道、市道や側溝、排水溝の老朽が目立ち、会員からの苦情が多くその対応が遅れ気味。寄付金などの集金が多く大変(班長からの苦情)。
自治会長会議は地区別に実施してほしい。
高齢者主体の自治会になっており、若い人主体の自治会になるような支援制度(若い人を対象とした地域リーダー研修など)。
仕事などのため、役員のなり手がいない。
馬場・上野馬場・花輪高校へ通じる道路幅が狭いということで、乗合タクシーの助成はあるが、たんぽこまち号の定期コースに加えてもらえればありがたい。通称沢口(ロードヒーティング済み)花小通路、そして花輪高校路線へと。住宅地として増加しており、高齢に伴う免許返還など、移動手段の利便性を守ってもらえればありがたいのだが。
市道アスファルト穴ぼこ補修工事の要望について、着工まで日時などかかりすぎと思う。また、事前に連絡(立ち合い)と終了の報告などが必要と思う。
このアンケートについて、せめて3分の1位の量にして書き易い質問にしてほしい。
富士川から大堰までの融雪溝を設置していただきたい。